



第 107 号 2017 年 12 月 11 日 発行 島田療育センター支援部ピコピコルーム

<https://www.shimada-ryoiku.or.jp/intro/pikopiko.html>

わいわい祭り 2017

9 月 9 日の土曜日、年に一度のイベント「わいわい祭り 2017」が開催されました。ピコピコルームは例年ゲームコーナーとして参加しており、今回も皆さんに楽しんでいただけるゲームをご用意しました。

今回はいつも使用している理学療法室から、外来待合室に会場を移しての実施です。ピコピコルームは会場の約半分を使って「iPad でプリクラ作成」「スイッチでスーパーマリオ」「カラオケ」「太鼓の達人」の 4 つのコーナーを設けました。ゲームコーナーの開始と同時にたくさんの方が会場に訪れ、プリクラはあっという間に順番待ちになる盛況ぶり。iPhone アプリの「Deco Pic」を使って撮影した写真をきれいに飾り付け、最後は 4 面シール用紙に印刷して完成です。昨年度は機材トラブルで苦戦したコーナーでしたが、今回はトラブルもなく実施することができました。あえて言うならば、人気がありすぎて iPad の充電が間に合わないほどになっていたことくらいでしょうか。

今回はじめて展示した「スイッチでスーパーマリオ」は、以前マジカルボックスでも展示したスイッチひとつで楽しめるコースを更に改良したものです。コントローラーでの操作が難しい方でも、タイミングよくスイッチを押すだけでマリオがジャンプし、コースを進んでいくというものでした。コントローラーで直接遊びたい方向けには、もっと難しいコースもプレイできるようにして多くの方に楽しんでいただきました。プリクラやマリオの待ち時間には、お馴染み太鼓の達人も活躍。一方で、カラオケはオープンスペースだったこともあり、なかなか歌いに来る方はいませんでした。会場全体の BGM としては機能していましたが、次は個別ブースにするなどの改善が必要そうです。

会場のもう半分には、情報ボランティア障害者支援の会の皆さんにも支援機器の展示やスイッチで楽しめるゲームコーナーを用意していただきました。ピコピコのプリクラの待ち時間に、人気の自撮りアプリ「B612」を使って写真撮影・印刷をしてもらえたり、スイッチで電動水鉄砲を操作して景品をゲットしたり、スイッチを使って風船を膨らませたりと、楽しい展示がたくさん並びました。

今回は昨年度以上にたくさんの方にご来場いただき、大変賑やかなゲームコーナーとなりました。次回も皆さんに楽しんでいただけるコーナーにしていきたいと思えます。 (支援部 神田)



スーパーマリオでは、スタッフが作った特製コースを楽しんでもらいました。



毎年恒例の太鼓の達人です。



支援機器やスイッチ等の展示も充実。

個別活動報告

カラオケ(6病棟)

今年購入して頂いたおうちカラオケ♪個別活動として2～3名でカラオケボックスの様に、好きな歌をうたいます。また全体活動ではデイルームで順番に好きな歌をうたいます。初めは照れながら歌っていましたが、今ではオン・ステージです。活動の幅も広がり、何より利用者様の楽しい時間が増えました。

今後もカラオケを楽しんでいきたいです。ちなみに最高得点はかめの水兵さんの96点です。100点目指して頑張ります。

(6病棟 谷合)



視線入力センサーのご紹介

ピコピコルームではパソコン操作が困難な方向けに、視線入力センサーを使ったゲームや文字入力にも取り組んでいます。数年前までは高価だった視線入力装置も近年では比較的安価に購入することができるようになり、活用に広がりを見せています。以下にセンサーとソフトをご紹介しますので、ご興味をお持ちの方は調べてみてください。



視線センサー

Tobii Eyetracker 4C

Tobii EyeX Controller の後継品で、前機種より精度も上がり、使えるパソコンも増えました。Amazon から2万円程度で購入できます。



視線入力で使えるソフト

Eye MoT

視線入力練習用の EyeMoT2D と、より簡単な操作で視線入力を体験できる EyeMoT3D があります。

ポランの広場 | 福祉情報工学と市民活動 <http://www.poran.net/ito/>



Hearty Ladder & Hearty AI (ハーティラダー & ハーティアイ)

50音の文字盤ソフトの Hearty Ladder と、それを視線で操作するための Hearty AI を組み合わせて使います。

Hearty Ladder <http://takaki.la.coccan.jp/hearty/>



ピコピコルームについて

島田療育センター 支援部ピコピコルームとは？

「ピコピコルーム」は、島田療育センターの利用者(入所・外来)の皆様方が、パソコンやタブレットなどのIT機器やスイッチ、ソフトを利用して、興味を拡げたり、遊んだり、コミュニケーションの道具として活用を進めるための部署です。